

第 28 号

こころ

県P連だより

編集 徳島市北田 宮 1丁目8-68
発行 〒770-0003 ☎088-633-1105
徳島県PTA連合会

ホームページ
<http://www.tokukenpta.com/>

すべては子ども達のために！

徳島県PTA連合会会長 永演 浩幸



「単Pに近い県P」のスローガンのもと、役員一同、気持ちを一にして、活動してまいりました。徳島県PTA連合会の活動にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、PTAとは、子ども達を中心において、周りの大人が連携して、教員としっかり手を取り合い、子ども達の豊かな未来を、子ども達が歩んでいける様、前に進めていく、素晴らしい社会教育活動の団体です。

また、保護者同士のコミュニケーションも大変重要であると思います。会員の皆様がPTA活動を通じて互いに理解し合えるようになればと考えています。

徳島県PTA連合会は、正会員として公益社団法人日本PTA全国協議会に加入しています。日本PTAの事業の一つに、社会教育、家庭教育及びPTA活動の資質向上に資するため、全国大会事業があります。

昨年度は、会員の皆様に大変お世話になりました。徳島うずしお大会、今年度は、杜の都・仙台で平成二十九年八月二十五日、二十六日に開催されました。「つながろうPTA！子どもたちの輝く未来のために」杜

の都発！みちのくの今を伝えたい感謝の思いと確かな歩みと「つながる」を大会スローガンとし、PTA会員同士がつながりを深めあつて、子どもたちを多くの目で見守る事と、震災からの復興の姿を見てもいい数多くの支援に感謝の気持ちを表す事を趣旨として開催されました。徳島県内各地から、徳島うずしお大会参加のお礼も兼ね、参加して頂き、学び、有意義な時間をすごして頂きました。

その学びや、気づきが、今後の活動の糧となり、子どもを育むPTA活動が、より推進されますことをご期待申し上げます。日々、成長していく子ども達を見ていくのは嬉しくもあり、楽しいものです。子ども達は、色々な事を乗り越えながら今日も学校に通って楽しく頑張っています。そんな子ども達と一緒に成長していく私達保護者は、PTAという場で楽しく



成長させて貰えるチャンスです。子ども達から貰っているのです。PTAはいろんな違うものを持つ人達の集まりです。年齢が違、職業が違、家庭環境が違、感じ方も考え方も価値観も違います。そんな中で、たった一つだけ共通するものが在ります。それは、子ども達のために何かをしたいという思いです。その共通した同じ思いを持った仲間が繋がる。そしてそこから子ども達の為に何かを生み出していく、育てていく、創り上げていく。本場にこの活動は尊いものだとは思っています。

PTAには、子どもが在学している期間という期限があります。P(はつと)・T(楽しく)・A(明るく)。

「すべては、子どもたちのために」を合言葉に、ともに活動を進めて参りましょう。

平成二十九年年度 県教育長要望

十二月十九日(水)に永演会長以下四名の役員が県教育委員会生涯学習課を訪問して本年度の教育長要望を阿部課長に提出し約一時間にわたり具体的な内容について要望をさせていただきました。

- ①いじめ・不登校・体罰に関する問題と課題
- ②防災・環境整備の促進
- ③児童・生徒の登下校や学校内における安全確保と不審者対策
- ④公立高等学校の通学区域に係る規則の見直し
- ⑤教育費の確保及び教員の適正配置や資質向上
- ⑥安全な食材の提供と食育指導

⑦中学校の部活動に対する改善
⑧障がい児が地元小学校に通える特別支援学級の充実
以上の項目について要望をいたしました。



県P連総会

去る六月七日(水)県教育会館において、県P連役員・郡市代議員・受賞者の方々の出席のもと、平成二十九年年度定期総会が盛大に開催されました。

永演浩幸会長のあいさつに続き、熱心な活動をされた四団体と三十九名の方に表彰状と十三名の方に感謝状が、そしてPTA広報紙コンクールに入賞された三校に表彰状が贈られました。ご臨席の来賓四名の方を代表して県議会副議長 寺井正邇様、県教育委員会生涯学習課課長 阿部淳子様からご祝辞をいただいた後、中山昌之氏の受賞者代表謝辞へと進みました。

議事に入り、平成二十八年度の事業報告・決算報告・監査報告を承認の後、平成二十九年

新役員が選出され、次に平成二十九年年度努力目標、事業計画・予算案等についての協議が行われ、原案どおり承認の運びとなり、総会を終了しました。



平成二十九年年度 役員

会長 永演 浩幸(板野)
副会長 徳永 忠士(鳴門)
井本 友子(阿南)
庄司 智礼(阿波)
泉 富士夫
(役員会推薦)

鎌田 二洋
(県小学校長会代表)

佐々 成司
(県中学校長会副会長)

理事 森川 融(小松島)
株田 昌幸(那賀)
三浦 茂貴(海部)
筒井 克彦(吉野川)
橘 秀晃(つるぎ)
八木 治(三好)
監事 佐々木宗徳(名西)
篠原 裕之(美馬)
顧問 上野弘一朗(勝浦)
川原 富子(徳名中)
広報委員長 泉 富士夫(板野)
研修委員長 遠藤 祐美(阿南)
総務委員長 永演 浩幸(板野)



ブロック別PTA活動紹介

～地域の伝統を守り 未来へつなげよう～

家庭・学校・地域の連携

★次号のブロック別PTA紹介は、鳴門市P連、小松島市P連、阿波市P連です。

南部ブロック 海部郡PTA連合会

会長 三浦 茂貴

2017年7月2日、牟岐での熱い暑い…戦いが終わりました！

海部郡では毎年恒例の郡PTA連合会球技大会を、郡内5中学校区が持ち回りで開催しています。正直、郡P連の活動といえばそれくらいしかありませんので、少し膨らませてみます。



この球技大会ですが、種目は女性がソフトバレーボール、男性がソフトボールを各小・中に分かれて勝ち抜き及びブロック戦で勝敗を決めています。各校のメンツだけを賭けた勝負ではありますが、2ヶ月前から練習するチームや近隣の学校と練習試合をするチーム、また、試合に向けてはもちろんのこと大会当日の打ち上げの準備など、それに向けての各単Pの活動は、かなり前から始まります。選手として出場する人、その応援やお世話をする人など、各単P会員がその大会に向かって行動を密にすることによって非常に絆が深まり、新入生の保護者や赴任された先生、そしてベテランのPTA会員が「勝利」という同じ目標に向かって、お互いの距離をぐっと縮めることができます。



す。その後に行われる学校行事などがスムーズに運営できているのは、この大会があるお陰といっても過言ではないでしょう。

今後も海部郡P連としては、本球技大会への取組を通して、「子どもたちのため」という目的に向かい、各単Pの邪魔をしない程度に程よい活動を続けていければと思います。

海部郡PTA連合会所属学校紹介

由岐中学校	PTA会長 戎井 満	PTA世帯数 25戸
日和佐中学校	PTA会長 市村加奈	PTA世帯数 78戸
牟岐中学校	PTA会長 中山昌之	PTA世帯数 72戸
海陽中学校	PTA会長 西沢知也	PTA世帯数 140戸
穴喰中学校	PTA会長 中山貴宏	PTA世帯数 58戸
中学校5校		合計PTA世帯数373戸
伊座利校	PTA会長 佐藤俊伸	PTA世帯数 10戸
由岐小学校	PTA会長 大田弘士	PTA世帯数 37戸
日和佐小学校	PTA会長 野口雅史	PTA世帯数 107戸
牟岐小学校	PTA会長 久 秀明	PTA世帯数 89戸
海南小学校	PTA会長 森下秀幸	PTA世帯数 141戸
海部小学校	PTA会長 三浦茂貴	PTA世帯数 30戸
穴喰小学校	PTA会長 小山 慎	PTA世帯数 71戸
小学校7校		合計PTA世帯数485戸



西部ブロック 三好市PTA連合会

会長 八木 治

三好市は、平成18年3月、三野町、池田町、山城町、井川町、西祖谷山村、東祖谷山村が合併し、誕生しました。四国のほぼ中央に位置し、古くからこの地域は交通の要衝として、また県西部での社会、経済、文化、観光の中心として栄えた町です。

三好市PTA連合会は現在、15小学校、6中学校、8幼稚園で構成されています。

各単位PTAはそれぞれ地区によって工夫し熱心に活動をしています。昨年は徳島うすしお大会がありましたので、その活動報告と三好市PTAの活動として毎年行う三好市PTA連合交流大会(ミックスソフトバレーボール大会)を開催していますのでそちらについてご紹介します。

平成28年8月20日、21日2日間に渡ってPTA全国大会、徳島うすしお大会が開催されました。三好市では8月20日県内を6つの会場に分け、分科会が開催されました。池田総合体育館では第3分科会が開催され、三好市立西井川小学校PTAが三好市を代表して実践発表を、荒川 智 会長が発表し、川人 守哲 副会長がパソコン操作を行いました。徳島発！渦巻く力を これからの社会に巣立つ子供たちのために ～まけまけいっばいの愛を注ぎ込もう！～ のスローガンのもと、メインテーマでもある家庭と学校の連携のもとに地域社会全体の教育力を生かしたPTA活動を発表しました。少子化や過疎化に伴い、特に徳島県西部地区では、児童生徒数の減少が著しく、三好地域においても、統廃合や学校の小規模化が加速しており、地域の衰退化へともつながりかねません。

こういった現状を踏まえ、家庭、学校、地域が協力し合って、地域を活性化し、健やかな子どもを育成するため、PTAがどう関わって行くべきなのかを考え、実際に行動をした新校舎上棟の餅投げや夏祭りといった新しい取組と、三世交代など長年続く取組を発表しました。学校、保護者、地域が密接に連携した西井川小学校の団結の強さ

をアピールした発表は、アンケートでも「協力的で羨ましい」「力をもらった」との声をいただきました。

準備にとても時間がかかりましたが、改めて自分たちがやってきた事を保護者全員で考え先生方と打ち合わせなどをしたことはとてもやりがいがあったと聞きます。どこの学校でも同じことをしていると思いますが、地域と一体でやるには先生方とPTAが良く話し合って密接に関わりを持つことが良いと思います。井川町では昔からPTAの活動を引き継ぎ、新しいアイデアを取り入れ工夫しています。井川中学校では今でも歴代の会長との意見交換を年に一度行っています。先生方と30歳も離れた歴代の会長との意見交換会はとても刺激的です。昔からの文化を受け継ぎ、今の子供たちにも伝えていけたら良いと思います。

とても大変だった全国大会ですが、三好市PTA連合会としては何年か前から引き継ぎながら、準備を進めていき、各学校から数名参加していただきとても意味のある全国大会になりました。

そして、三好市PTA連合交流大会を年に一度開催しています。平成28年は、10月8日三好市池田総合体育館にてソフトバレーボール大会を実施しました。この球技大会は親睦を図ることを目的に、ソフトボールを開催しています。各単位PTAで球技大会に向けて、当日の参加や役割分担等について役員会等で協議し、選手の募集や大会に向けての準備が8月下旬からはじまります。また、各小・中学校での練習や他校との交流を兼ねた練習試合では、先生方のご協力のもと、保護者と先生方が連携し球技大会を盛り上げてくださっています。池田総合体育館の会場では老若男女が和気あいあいと観戦します。選手は子どもたちや参加者の声援をうけ日頃の運動不足の解消や保護者間の交流を深めています。今年度は10月29日(日)に行われました。保護者の皆さんにはそれぞれいろいろな事情があると思いますが、まず、PTA活動を知っていただき、出来る時に出来ることを気軽に参加いただきたいと心から願っています。これからも家庭、学校、地域が協力し合っ、楽しい学校を子どもたちに届けることができたらと思います。



栄えある全国表彰

十一月十七日(金) 東京のホテルニューオオタニに於いて日本PTA全国協議会表彰式が行われました。本県から文部科学大臣表彰を受賞した上勝中学校PTAから峠俊彦会長と日本PTA全国協議会会長表彰を受賞した牟岐中学校の中山昌之会長が出席されました。

なお、本県関係の受賞者は次の通りです。心よりお喜び申し上げます。

文部科学大臣表彰・団体
上勝町立上勝中学校PTA
日本PTA全国協議会会長表彰・団体
美馬市清水校教育後援会
美波町立由岐小学校PTA
日本PTA全国協議会会長表彰・個人
県P連前監事 竹田真由美
(上勝小P)
県P連前理事 松浦 明人
(三加茂中P)
県P連前理事 山本 純
(新開小P)
県P連前理事 中山 昌之
(牟岐中P)



三行詩コンクール徳島県優秀作品表彰式と家庭教育研修会

十二月十日(日) 徳島県教育会館で家庭教育研修会に先立って三行詩コンクール徳島県優秀作品表彰式と家庭教育研修会



来年度も今年度と同じように五月から六月に募集があります。この機会にお子さんと、ご家族で話し合い考えてください。たくさんのお応募をお待ちしています。

家庭教育研修会では『食は命を伝える』という演題で食と体の研究所所長の横山栄子さんから食育について「まめ、ごま、わかめ、やさい、さかな、しいたけ、いも」を代表とする「まごわやさしい」という言葉を使い日本に伝わる伝統食の大切さをわかりやすくお話しくださいます。



「楽しい子育て全国キャンペーン」

～家庭で話そう！我が家のルール・家族の絆・命の大切さ～

三行詩コンクール県内優秀作品

小学生の部

一日一回 めいっつとだきしめてね そしたら
わたしあたたかくて ふわふわして いいきもち
おこられるけど さいごはよくを かわいがつくれる かぞく
吉井小学校3年 佐々日向汰さん

みんなだね 家族で話そう なやみごと
吉井小学校4年 湯浅はづきさん

家族みんなの誕生日 自分の誕生日よりも とても大切
吉井小学校6年 町田 吉野さん
弟よ、自分でやれよ宿題は。と言いながら、頼りにされて
うれしくて そつと見守る ばくがいる。
児安小学校6年 宮城 省吾さん

中学生の部

「次からしない」と言うけど、やってくれる 母の優しさ

「がんばれ」と 家族の応援 てれくさいけど ホンマはうれしい
阿波中学校2年 久次米こゆきさん

反こうき それがすぎたら反省期 お母さん、いつも言いたい ありがとう。
那賀川中学校3年 久保田 董さん

自分から 笑顔で あいさつ これ大事！
阿波中学校3年 林 莉那さん
ただいまは 無事に帰ったということ
那賀川中学校3年 廣田 優月さん
おかえりは 帰ってきてくれて ありがとうということ
那賀川中学校3年 福住 侑世さん

一般の部

子どもに寄り添い 子どもと共に育ち 子どもに思いを語れる親でありたい
藍住北小学校 石本 悦子さん
ひとりになって気付くのは 私を笑顔にしてくれたのが
北島中学校 片山貴美子さん

テレビじゃなくて 家族だったこと
娘の反抗期 親のヒステリー お風呂で向きあい 笑顔がもどる
和島島小学校 眞田 千春さん

いつも見守っているよ 同じ場所にいらなくても 家族の心はつながっているよ。
北島中学校 柴田 香織さん

ああ言えば、こう言われ いい刺激 毎日たくさんありがとう
北島中学校 柴田 香織さん
児安小学校 宮城 愛さん

日本PTA全国協議会 国内研修事業 in 渡嘉敷村

いろいろ学んだ5日間

小松島市立小松島南中学校

吉田 成海



私はこの研修で、何事にもチャレンジする勇気を教わりました。いろいろな体験を通じて、チームワークの大切さを学べたし、たくさんの方達と出会えました。様々なことをしましたが、その中でも特に印象に残っていることが三つあります。

一つ目は渡嘉敷島ワークショップです。私が体験した、いろいろな自然のものを使い、いろいろな自然のものを使い、それが三つあります。



ら、サンゴなども使って風車やコルクボードを作りました。

その後グループごとに学んだことを発表するの、計画を立てたり準備したりするのが大変でした。でも楽しかったです。

二つ目は海洋研修です。白い砂浜やとう명한海がとてもきれいでした。カヤックでみんなと競争したり、シュノーケリングで海の中を見たりするのが楽しかったです。図鑑の中でしか見たことがない魚が近くで見られて、とてもうれしかったです。

三つ目は、キャンドルファイヤーの前に各版で出し物をしたことです。どんな出し物をするか決めるときにみんなが積極的に意見を出し合っていたことをよく覚えています。それぞれの班がユニークな出し物をしていておもしろかったです。あの出し物を通して、みんなの絆が

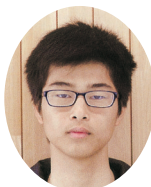
いつそう深まった気がしました。長いようで短かった5日間。仲間と過ごした5日間の全てが私の大切な思い出です。この研修でできた友達とは住む場所が離れているけれど、手紙やメールのやりとりは続けていくつもりです。

それとこれから生きていく中で、難しいことにもチャレンジしていきたいです。本当にありがとうございました。

国内研修を終えて

板野郡藍住東中学校

神尾 遼真



僕はこの五日間の国内研修でたくさんのことを学びました。

一つ目は自分から話しかけることの大切さです。初めて出会った人ばかりで不安だった僕に最初に話しかけてくれた同じ班の人がいて、その人のおかげで他の人にも話しかけやすくなりました。自分から話しかけることが大切ということは分かっていたつもりだったけど、実際にすると難しく、その班の子のおかげであらためて自分から話しかけることの大切さが分かったと思います。

二つ目は平和学習についてです。僕は修学旅行で沖縄に行っていて、その時に一度平和学習していました。その時に集団自

決があったことは聞いていたけど、手りゅう弾が爆発しなかったときにどうしていたとかはそこまで詳しく教えられませんでした。でも今回の平和学習ではそのことについて詳しく学びました。修学旅行の時の平和学習で沖縄戦について学べた気になっていけど今回の平和学習で知らなかったことを知り、より平和や戦争についての知識や理解を深めることができました。

この国内研修の五日間で初めは不安だったけど班のメンバーと一緒に過ごす中で不安は楽しさに変わっていききました。泳ぐのが苦手な僕でも海を楽しめて本当にいい友達に出会ったことができました。別れ際には涙を流すほど仲良くなれました。そんな友達ができていろいろな体験をすることができたこの国内研修に参加できて本当に良かったなと思います。



広報誌の役割について

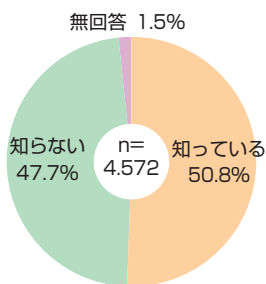
広報委員長 泉 富士夫

学校とPTAは「子どもたちの健全な育成を図る」という共通の目的を有していますが、役割はそれぞれに違います。しかし同じ目的を持つ者同士「お互いの違いを理解しながらそれぞれの立場で学校教育の向上に協力していくことが求められます。そのためにはまず子どもが通っている学校の教育目標や取り組みを理解することなのですが平成二十八年年度の（公）日本PTA全国協議会の全国保護者調査では47・7%の保護者が知らないと回答されています。航海図を持たず海に出ていきトラブルにあい始めてどうしようかと思うようなものですね。

知っている方の中でもグラフを見てわかるように情報を得ているのが現状です。

PTA広報誌は、学校や地域の情報を得たり、同じPTAの仲間の活動を収集するツールの一つです。

学校の取り組みの認知度（保護者全体）



様々な環境の人がいる中で、一概に言えないかもしれませんが、皆それぞれにやりくりしていろいろな生活以外の活動をしているのではないのでしょうか。PTAはやらなくてはよいものと考えられがちです。それは何故でしょうか。PTAについて理解がされてないことが多分にあると思います。

それをご理解いただくことも広報誌の役目ではないでしょうか。まずは「一読頂き理解を深めPTA活動の一步として頂ければきっと今までと違う自分や知り合いに出会えるはずですよ。」

